

平成27事業年度
(第 12 期)

決 算 報 告 書

国立大学法人
長岡技術科学大学

平成27年度 決算報告書

国立大学法人 長岡技術科学大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	3,776	3,877	101	(注1)
施設整備費補助金	575	575	—	
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	623	542	△81	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	33	33	—	
自己収入	1,535	1,542	7	
授業料、入学金及び検定料収入	1,335	1,368	33	(注3)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	200	174	△26	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	896	999	103	(注5)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	26	83	57	(注6)
計	7,464	7,651	187	
支出				
業務費	5,337	5,250	△87	
教育研究経費	5,337	5,250	△87	(注7)
診療経費	—	—	—	
施設整備費	608	608	—	
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	623	542	△81	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	896	855	△41	(注9)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	7,464	7,255	△209	
収入－支出	—	396	396	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった国立大学法人の行う教育改善推進枠による事業、学長のリーダーシップの発揮を更に高めるための特別措置枠による事業及び年俸制導入促進費による事業に伴う特別運営費交付金が追加交付されたことなどにより、予算金額に比して決算金額が101百万円多額となっています。
- (注2) 補助金収入については、計画変更等により予算金額に比して決算金額が81百万円少額となっています。
- (注3) 授業料、入学金及び検定料収入については、予定より授業料等の納入者数が増えたため、予算金額に比して決算金額が33百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、科研費等間接費収入の収入減により、予算金額に比して決算金額が26百万円少額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、産学連携等研究収入の前年度からの繰越額が34百万円増え、寄附金収入についても4百万円増えたため、平成27年度の産学連携等研究収入の65百万円の増と合わせ、予算金額に比して決算金額が103百万円多額となっています。なお、前年度からの繰越額は127百万円です。
- (注6) 目的積立金取崩については、平成26年度の残額が予定より11百万円増え、申請を行った平成26年度剰余金における目的積立金46百万円が承認されたため、予算金額に比して決算金額が57百万円多額となっています。
- (注7) 教育研究経費については、経費の節減に努めたこと、また、科学研究費補助金間接経費の減少による23百万円の支出減等により、予算金額に比して決算金額が87百万円少額となっています。
- (注8) (注2)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が81百万円少額となっています。
- (注9) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、一部、翌年度に繰越となったため、予算金額に比して決算金額が41百万円少額となっています。